

平成30年度 事業報告

公益社団法人千葉県労働基準協会連合会

はじめに

当連合会では、行政当局のご指導の下、地区労働基準協会（以下、「地区協会」という。）、関係機関・団体との連携・協力をより深め、県内の労働者が安心して安全かつ健康に働ける職場環境の実現を目指して、積極的、効果的な事業の運営に努めてきました。また、事業者には「経営における安全衛生の最優先」「現場力の強化」を改めて認識して自主的な労働災害防止活動の充実・強化を図ることを啓発・支援してまいりました。

このため、各種技能講習、研修等の事業をはじめ、労働問題相談センター事業の運営や千葉県産業安全衛生会議の運営等を積極的に推進しました。また、第13次労働災害防止計画の初年度に当たり、死亡災害を15%以上減少、休業4日以上死傷災害を5%以上減少させるという目標達成にむけて、建設業、製造業、陸上貨物運送業、小売業、社会福祉施設及び飲食店といった重点業種ごとの対策に加え、「STOP! 転倒災害プロジェクト」やKYT、リスクアセスメント、労働安全衛生マネジメントシステムの普及を図りました。さらに、疲労やストレスによる健康障害を防止するため、ストレスチェックを含めたメンタルヘルス対策や過重労働対策、一般労働条件確保対策等の取組みを推進してきました。

以上のとおり、当連合会は、千葉県下事業場の労働災害防止をはじめ適正な労働条件の確保・改善、健康の保持増進等勤労者福祉の増進に寄与するための事業をより一層公益的に推進してきました。

I 実施事項

1 安全衛生関係技能講習・教育等の適正な実施

- ① 各種技能講習の適正、円滑な実施に努めた。また、各種安全衛生教育等の内容の充実を図るとともに、計画的な実施に努めた。
平成30年度の講習等の受講者は、表1「平成30年度安全衛生関係講習等実施状況」のとおり、対前年比で、技能講習計では減少(-60人)し、養成講習では大幅に減少(-159人)し、その他講習では増加(+55人)となっており、全体としては、前年度より大幅の減少(-164人)となった。
- ② 公益社団法人として、コンプライアンスに留意し、適正な講習の実施に努めた。
- ③ 技能講習実施管理者や講師の適正配置に努めた。
- ④ 技能講習修了試験問題をテキストの改編等に合わせて見直しした。
- ⑤ 受講者の利便性を考慮して全ての講習を年2回以上実施する計画どおり実行した。
- ⑥ 受講者の集まらない講習・教育についても県内機関で実施がない講習・教育については、ニーズに応じて実施した。例えば、有機溶剤作業主任者能力向上教育、安全管理者能力向上教育、第1種衛生管理者能力向上教育、第2種衛生管理者受験対策実践講習などを実施した。
- ⑦ 第三次産業に係る業種の受講生の増加を図るため、「衛生推進者養成講習」を年4回実施したほか、新規起業事業場向け労働条件セミナーを開催し、講習案内を商業・サービス業・社会福祉施設を中心にDM発送した。

附属明細書

表1 平成30年度（4月～3月）安全衛生関係講習等実施状況

講習名	協会別	平成29年度4月～3月A			平成30年度4月～3月B			前年比（B-A）			
		申込者数	開催回数	回あたり人数	申込者数	開催回数	回あたり人数	申込者数	回数	回あたり人数	
登録技能講習	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	連合会	1,906	21	90	1,815	20	90	-91	-1	0
	有機溶剤作業主任者	連合会	1,904	21	90	1,934	21	92	30	0	2
		柏	87	2	43	67	2	33	-20	0	-10
		成田	250	5	50	307	5	61	57	0	11
		東金	18	1	18	28	1	28	10	0	10
	有機溶剤作業主任者 小計		2,259	29	77	2,336	29	80	77	0	3
	石綿作業主任者	連合会	213	4	53	323	4	80	110	0	27
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	連合会	2,100	21	100	2,000	20	100	-100	-1	0
		柏	80	2	40	73	2	36	-7	0	-4
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 小計		2,180	23	94	2,073	22	94	-107	-1	0
鉛作業主任者	連合会	72	2	36	91	3	30	19	1	-6	
プレス機械作業主任者	連合会	164	2	82	161	2	80	-3	0	-2	
乾燥設備作業主任者	連合会	285	4	71	304	4	76	19	0	5	
フォークリフト運転	銚子	60	1	60	0	0	0	-60	-1	-60	

講習名	協会別	平成29年度4月～3月A			平成30年度4月～3月B			前年比(B-A)			
		申込者数	開催回数	回あたり人数	申込者数	開催回数	回あたり人数	申込者数	回数	回あたり人数	
登録技能講習	ガス溶接	千葉	188	8	23	124	6	20	-64	-2	-3
		船橋	103	5	20	98	5	19	-5	0	-1
		柏	55	2	27	38	2	19	-17	0	-8
		君津	123	2	61	149	3	49	26	1	-12
	ガス溶接 小計		469	17	27	409	16	25	-60	-1	-2
	玉掛け	千葉	465	9	51	428	9	47	-37	0	-4
		船橋	127	4	31	167	4	41	40	0	10
		柏	111	3	37	129	3	43	18	0	6
		銚子	30	1	30	30	1	30	0	0	0
		君津	151	3	50	176	3	58	25	0	8
東金	40	1	40	39	1	39	-1	0	-1		
玉掛け 小計		924	21	44	969	21	46	45	0	2	
床上操作式クレーン運転	船橋	45	3	15	36	3	12	-9	0	-3	
登録技能講習計		8,577	127	67	8,517	124	68	-60	-3	1	
登録養成講習	安全衛生推進者養成講習	千葉	213	4	53	233	4	58	20	0	5
		船橋	113	4	28	83	3	27	-30	-1	-1
		柏	55	2	27	50	2	25	-5	0	-2
		銚子	10	1	10	16	1	16	6	0	6
		君津	26	1	26	21	1	21	-5	0	-5
		成田	64	2	32	46	2	23	-18	0	-9
	東金	33	1	33	23	1	23	-10	0	-10	
安全衛生推進者 小計		514	15	34	472	14	33	-42	-1	-1	
衛生推進者養成講習	連合会	302	5	60	185	4	46	-117	-1	-14	
登録養成講習 小計		816	20	40	657	18	36	-159	-2	-4	
その他講習	有機溶剤作業主任者能力向上教育	連合会	20	1	20	35	2	17	15	1	-3
	安全管理者能力向上教育	連合会	28	2	14	30	2	15	2	0	1
	第1種衛生管理者能力向上教育	連合会	63	2	31	38	2	19	-25	0	-12
	局所排気装置等の定期自主検査者講習	連合会	153	4	38	125	3	41	-28	-1	3
	産業用ロボットの教示、検査等業務の特別教育	連合会	143	3	47	148	3	49	5	0	2
	第1種衛生管理者受験対策実践講習	連合会	284	5	56	329	5	65	45	0	9
	第2種衛生管理者受験対策実践講習	連合会	66	5	13	83	5	16	17	0	3
	管理監督者・労働担当者講習	連合会	55	2	27	79	2	39	24	0	12
	その他講習 小計		812	23	35	832	22	37	20	-1	2
総計		10,205	171	59	10,041	166	60	-164	-5	1	

2 技能講習等管理・修了証システムの充実

平成30年度から無料の講習・研修も含め全ての講習についてWeb予約・申込の運用を開始した。また、講習毎に「受講者写真一覧」を出力できるようにし、試験時に本人確認をし易くした。さらに、平成30年度から講師管理システムもC-wingで行うことができるようにしたほか、講習予約者の宛名シールをC-wingから印刷できるようにし、事務簡素化を図った。

3 労働問題相談センターの活性化

地区協会の協力の下、茂原・東金を除く地区協会に労働問題相談センターを開設し、無料相談を実施した。

地域による相談件数の格差があり、地区協会によっては利用者数が少ない状況も一部に見られるが、平成30年度は前年度比で大幅に増加(+154件)し326件となった。当連合会としては、労働問題相談センターの広報を平成30年5月号の会報「千葉労基連」に掲載したほか、地区協会の会報にも積極的に広告を行った。

また、相談センター事業が会員サービスや会員拡大に繋がるような観点から、地区協会と連携を図りながら、地区協会のホームページのトップに目立つよう労働問題相談センターの表示を掲載した。

なお、個別相談に当たり、引き続き、迅速、丁寧、適切な回答に努め、利用者第一に考えた対応を心掛けた

4 千葉県産業安全衛生会議の適正な運営

① 平成30年6月5日第1回千葉県産業安全衛生会議を実施した。労働局、県及び関係団体の出席に

より、前年度の事業実施報告・収支決算書、今年度の事業実施計画案・収支予算書案の承認等を審議した。

- ② 平成30年8月31日第2回千葉県産業安全衛生会議を実施した。労働局、県及び関係団体の出席により、10月4日開催予定の千葉県産業安全衛生大会の運営に関する詳細な打合せを行った。
- ③ 平成30年11月12日第3回千葉県産業安全衛生会議を実施した。労働局、県及び関係団体の出席により、10月4日開催した千葉県産業安全衛生大会の実施結果・収支等の報告のほか、年末年始無災害運動の打合せを行った。
- ④ 平成30年度年末・年始無災害運動における安全パトロールを実施した。12月13日にJFEスチール株式会社東日本製鉄所千葉地区と株式会社クボタ千葉工場の2カ所を千葉労働局長、労働基準部長ほか千葉県産業安全衛生会議構成員のメンバーが2班に分かれてパトロールを実施し、年末年始の無災害運動を呼び掛けた。
- ⑤ 第13次労働災害防止計画の周知とともに、死亡災害撲滅のための積極的な広報活動を行った。

5 千葉県産業安全衛生大会の適正な実施

- ① 平成30年10月4日（木）千葉市民会館にて開催した。
- ② 千葉労働局長表彰、連合会長表彰等各種の表彰及び大会宣言等を例年通り挙行了した。
- ③ 講演は、
千葉労働局労働基準部健康安全課長 北村 明典 氏による「『働き方改革』と13次防」という演題で、若い人から高齢者まで労働災害、健康障害のない社会を目指して、その対策についてわかり易い説明が行われた。
- ④ 特別講演は、
合同会社おもてなし創造カンパニー代表
元株式会社JR東日本テクノハートTESSEIおもてなし創造部長
JR東日本「安全の語り部（経験の伝承者）」
矢部 輝夫 氏による
「みんなで創る安全とおもてなし」
という演題で、災害事例の紹介と安全活動の基本であるリスクマネジメントを説明され、その後、3K職場と言われた新幹線の清掃職場をおもてなし集団へと変革させた経験等を踏まえて、働く人の意識改革や新しい価値観を創造・共有していく感覚が大切である等、職場で実際に役立つ示唆に富んだ講話が行われた。
- ⑤ 参加者数は595名。

6 千葉県衛生管理者協議会の充実

現在、会員数180人強となっており、当連合会ホームページによる募集のほか、勧誘チラシを衛生管理者受験対策実践講習、衛生管理者能力向上教育等に配布し、会員の増強に努めた。

平成30年度も、会員のニーズに応えながら、全国衛生管理者ニュース等の情報の提供を行った。

平成30年度の第1回の例会は、9月10日（月）に、千葉労働局労働基準部北村健康安全課長の挨拶後、基調講演はメンタルレスキューインストラクター・産業カウンセラー 堀内 和史 氏による「誰でも陥るメンタル不調」と題して90分の講演後、職場のメンタルヘルス対策、上司部下とのコミュニケーション等課題別のグループ討議を行った（参加者48名）。

また、平成30年度第2回の例会は平成31年2月12日（火）に、千葉労働局労働基準部北村健康安全課長による「最近の労働安全衛生行政」の説明後、当連合会加瀬専務理事による「働き方改革関連法の改正と課題 - 勤務間インターバルで健康確保 - 」と興研株式会社労働衛生コンサルタント 上福元 清隆 氏による「労働衛生管理（作業環境管理）作業環境改善の方法と実際」と題した両名による特別講演が行われた（参加者66名）。

7 働き方改革の推進

平成30年6月29日に働き方改革関連法が成立したことを踏まえ、当会の目的（労働者福祉の増進と産業の健全な発展）に沿う働き方改革を推進するため、一般社団法人千葉県経営者協会と千葉県社会保険労務士会及び当会の三者による「働き方改革推進に係る連携協力に関する協定」を8月6日に締結した。

三者協定に基づき、情報共有やセミナーの協力開催・広報などを通じて県内企業の働き方改革の普及啓発を推進した。平成31年1月7日には、当連合会が企画した東京大学社会科学研究所教授 水町 勇一郎 氏の特別講演「働き方改革の課題 - いま、企業がやるべきこと」をメインとして「働き方改革セミナー」を三者共催で実施した（参加者155名）。

また、「働き方改革推進相談窓口」を社労士会事務所内に開設して広報に努めた。

8 全国労働基準関係団体連合会(全基連)千葉県支部事業の適正実施(受託事業)

- ① 新規起業事業場就業環境整備事業の実施
 - イ 新規起業事業場情報の把握
本年度は、全基連からの情報提供のあった労働保険新規成立届出名簿から事業場を選別して新規事業場の選定を行った。
 - ロ 新規起業事業場対象セミナーの開催
平成30年8月23日、千葉労働局後援の下、セミナーを開催した(参加者35名)。
 - ハ 就業環境整備普及指導員による個別指導
目標数25件のところ29件の申込があり、個別指導を実施した。
- ② 介護事業場就労環境整備事業
 - イ 介護事業場の把握 - インターネットによる検索で対象事業場58件を把握し、事業の紹介と個別指導の勧奨のためDMで送付した。
 - ロ 介護整備セミナーの開催
平成30年8月10日、茂原労働基準監督署の協力の下、茂原市役所市民室で共催開催した(参加者34人)。
 - ハ 就労環境整備指導員による個別指導
目標数12件のところ12件の申込があり、個別指導を実施した。
- ③ 外国人技能実習制度関係者養成講習
次の者を対象に4コースの養成講習を平成30年7月4日、5日、23日、24日の日程で実施した。
 - イ 監理責任者等講習(参加者25名) ロ 技能実習責任者講習(参加者53名)
 - ハ 技能実習指導員講習(参加者21名) ニ 生活指導員講習(参加者13名)
- ④ 受動喫煙防止普及事業
平成30年12月14日及び平成31年1月7日に他の講習と併せて受動喫煙防止セミナーを実施した(参加者27名、参加者90名)。
- ⑤ 勤務間インターバル制度普及促進広報事業
平成31年1月7日開催の「働き方改革セミナー」と併催して当連合会加瀬専務理事による「勤務間インターバルとは何か、その課題と解決策」と題して講習を実施した(参加者155名)。また、平成31年2月12日千葉県衛生管理者協議会においても当連合会加瀬専務理事による勤務間インターバルを中心とした講演を実施した(参加者66名)。
- ⑥ 労務管理の知識習得のための専門家育成セミナー事業
経営指導員等に対して、当連合会加瀬専務理事から働き方改革関連法の改正内容を中心に労働基準法、労働安全衛生法等の研修を実施した(参加者40名)。

9 中央労働災害防止協会関連事業への参加

- (1) 委託共催事業の適正な実施
 - ① 中小規模事業場安全衛生相談事業
中小規模事業場の安全衛生水準の向上に寄与するため、電話、メール、来所等による安全衛生相談を日常的に実施しているほか、千葉県産業安全衛生大会10月4日当日に、安全衛生相談会を開催した(相談件数8件)。
なお、当会への電話やインターネットによる中小企業からの相談は86件となった。
 - ② 経営幹部のための安全衛生セミナー(6月4日-参加者68名)
 - ③ KYTトレーナー研修会(8月2日~3日-参加者71名、11月8日~9日-参加者71名)
 - ④ 事業場内メンタルヘルス推進担当者養成研修(9月3日~4日-参加者11名)
 - ⑤ 安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント実務研修(3月4日-参加者18名)
 - (2) 大会等への勧奨、協力
 - ① 全国産業安全衛生大会[横浜市](10月17日~19日)
連合会の賛助会員及び各地区協会の会員事業場から多数が参加するよう勧奨等に努めた。全国で約11,200名が参加し、千葉県からの参加者は443名であった。
 - ② 中小企業無災害記録証
無災害表彰等により、安全衛生活動の底上げにつながるよう制度の周知に努めた。申請があった場合には、労働基準監督署の協力を得て、速やかに中防災へ進達した。
平成30年度授与された事業場
- | | |
|-------------------|----------|
| 大丸タクシー株式会社 | 金賞(第五種) |
| 竪川線材株式会社 | 銅賞(第三種) |
| 株式会社ミヤザキテック | 銅賞(第三種) |
| 協立化学産業株式会社 製造所 | 銅賞(第三種) |
| 東京製線株式会社 | 進歩賞(第二種) |
| 三和機工株式会社東京支店・千葉工場 | 努力賞(第一種) |
| 株式会社スノウチ | 努力賞(第一種) |

- ③ 各種広報啓発事業
全国安全週間、全国労働衛生週間、年末年始無災害運動等、中災防が主体的にかかわる事業に対し、広報啓発等を積極的に推進した。
- ④ その他
年度途中で必要と思われる事業が提起された場合は、これらについて弾力的に対応し、第三次産業労働災害防止対策支援事業（医療保健業、社会福祉・介護事業）に係る腰痛予防対策講習会を9月18日に看護従事者向け（参加者14名）、介護従事者向け（参加者56名）、事業者向け（参加者5名）それぞれ3回に分けて実施した（参加者計75名）。

10 広報の手法、内容の充実

機関紙「千葉労基連」の掲載内容、千葉労基連ホームページ等をより見やすい内容にする等随時リフレッシュを図り広報機能を充実させた。

労働災害件数の全産業に占める割合が年々増加している小売業・社会福祉施設等第三次産業の事業者・労働者に対する労働災害防止を喚起するため、DMによる講習案内の送付を活用して災害統計、転倒防止等資料を配布する等啓発に努めた。

千葉県内における労働災害が減少していないため、当会が実施する講習については全受講者に第13次労働災害防止計画のチラシを配布する等労働災害防止対策の積極的な周知を図った。

11 連合会等組織の基盤強化

- ① 当連合会の平成30年3月31日現在の賛助会員数は271であったが、平成31年3月31日現在278(+7)と微増した。当連合会の非会員でその他講習を受講した事業場に入会案内等をDMした効果が見られた。しかしながら、ほとんどの地区協会で会員が減少しているか現状維持となっており、全体では1.0%(-50)の減少となった。
組織の根幹ともいべき会員の長期間にわたる減少をくい止めるべきとの認識に立ち、連合会、地区協会が連携して会員減少対策に取り組んでおり、多少効果が見られる地区もあるが、全体としては減少傾向に歯止めがかかっていない。
このため、地区協会の会員加入促進キャンペーン活動を支援し、平成30年9月1日付け労働基準協会「入会のご案内」パンフレットを9,000枚作成し、地区協会のほか、各労働基準監督署、各職業安定所及び千葉労働局あて送付し、配布方を依頼したが、現在のところ目立った効果は出ていない。
- ② 公益社団法人として、安定的に継続的に公益事業をしていく必要から将来的な経費の低減を図るため、事業運営安定化基金取扱規程、講習会館等確保整備基金運用規程、千葉労基連講習会館（仮称）建設計画に基づき、平成29年度決算で生じた剰余金を積立した。
- ③ 出張講習・安全衛生教育等の要請に応需し、会員サービスや会員拡大につなげていく方針であり、平成30年度は鉛作業主任者講習を要請により臨時に開催した（参加者11名）。

II 会員の異動状況

平成29年度末 賛助会員数	平成30年度中の異動数		平成30年度末 賛助会員数
	入会	退会	
271	9	2	278

地区協会名	千葉	船橋	柏	銚子	館山	君津	茂原	成田	東金
賛助会員数 29年度末	96	36	37	11	8	23	12	19	29
賛助会員数 30年度末	99	37	37	11	8	24	13	19	30

III 会議報告

1 定時総会

平成30年5月22日（火）、千葉県経営者会館にて実施した。議案は全て原案どおり承認された。

2 理事会

- 第1回 平成30年4月19日（木）千葉県経営者会館
- 第2回 平成30年11月22日（木）東天紅
- 第3回 平成31年3月20日（水）千葉県経営者会館

3 地区労働基準協会事務局長会議

- 第1回 平成30年8月21日（火）千葉県経営者会館
- 第2回 平成31年1月8日（火）千葉県経営者会館